

広
報

えちご上越

特集

第20回通常総代会を開催
第20回農業賞 受賞者紹介

7 | 2021
Vol.245

JAフォトコンテスト
作品募集中!



農山村風景や祭事、農畜産物などを写した
季節感あふれる作品をお寄せください。

締切は**8月16日**必着 ※詳しくはホームページ
をご覧ください。



こころ耕し、いのち育む。



JAえちご上越

第20回通常総代会を開催

中期3カ年計画の最終年度 協同の力でJA自己改革目標の実現へ



第20回通常総代会を5月27日に上越文化会館で行いました。昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、総代の皆さまには書面議決による議決権の行使を推奨させていただきました。また、会場では感染予防対策として間隔を空けた配席や、議案説明に動画やスライドを活用して時間短縮に努めました。

本会は、総代992人のうち884人(書面出席816人、本人出席67人、代理人出席1人)により議事を行いました。議長には頸北地域の笹川肇さんが選出され、令和2年度の事業報告や令和3年度事業計画の設定など7議案を審議。全て原案通り可決承認されました。経営管理委員会の笹原茂会長は、開会のあいさつで「今年度は第6次中期3カ年計画の最終年度となり、これまでの成果を示す重要な1年となります。JA自己改革目標の実現や、持続可能な経営基盤の確立・強化に向けて、全役職員が総力を挙げて取り組んでいきますので、協同の力の結集をお願いいたします」と話しました。

提出議案

第1号議案

令和2年度事業報告
および剰余金処分案
の承認について

第2号議案

令和3年度事業計画
の設定について

第3号議案

経営管理委員、理事および
監事の報酬決定
について

第4号議案

令和3年度の賦課金、
賦課方法、徴収時期および
徴収方法の決定
について

第5号議案

定款の変更について

第6号議案

信用事業規程の変更
について

第7号議案

共済規程の変更について

Q 事業報告によれば事業実績は計画を下回ったものの、管理費の減少によって剰余金が計画を上回り、配当も増えたようだが、管理費の減少は当年度以降も期待できるのか。また、管理費の減少内容について説明を求める。

A 管理費減少の要因としては人件費の部分が大きくなっています。退職給付費用の見積額が長期金利の上昇によって大きく減少しました。また、コロナ禍による会議・イベント経費の減少、超過勤務やその他支出の抑制も主な要因となっています。当年度以降は同様の費用減少とはならないと思いますが、事業利益確保に向けて引き続き費用削減に努めてまいります。

Q 正組合員、准組合員ともに減少しているが、どのような理由で減少しているのか。

A 正組合員の減少については、主に高齢化や死亡によるものです。准組合員については、これまで微増傾向にありましたが、正組合員資格要件を満たす准組合員に対して正組合員への資格変更を進めたことなどから減少となりました。人口減少や担い手農家の減少により、組合員総数は減少傾向にあります。

Q コロナ禍で「あるんの杜」も苦しい環境にあると思うが、今後の運営についてどのように考えているか。また、「あるんの杜」の機能の一つに“情報発信”とあるが、それならば営農部門ではなく総務部門の管理にしてはどうか。営農経済部門の収支均衡に向け、生産者を含め営農部だけで多額の費用を負担していくのは非常に厳しいのではないか。

A 「あるんの杜」の設置目的は、農畜産物の消費拡大を進めて農業所得を上げること、食と農を基軸とした地域づくりを広く発信することの2つとなっています。コロナ禍で来店者の少ない時間帯があり、今後の運営については十分検討していく必要があります。令和3年度からオペレーションの見直し、大幅な人員削減など抜本的な改革を行っていますが、コロナ禍の収束は期待できず厳しい環境が続くと予想されます。改革の結果や今後の方向性については随時お知らせしてまいります。

また、「あるんの杜」を含む「上越あるん村」では“食と農の情報発信”に取り組んでいますが、生産・販売・消費に関わる情報をタイムリーに反映した店づくりができるのは営農部門ならではだと考えております。農畜産物がどこで、どのように生産されているかなど、食と農に関する情報の観点からも、基本的には営農部門で運営を担っていきたいと考えますが、現在も機能に応じて管理部門からも費用支出しています。

この回答に対し、「多くの人があるんの杜を応援したいと思っている。あるん畑利用組合のように、組合員が運営に参加できるような仕組みづくりが必要なのではないか」とのご意見をいただきました。

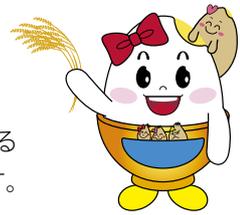
Q 今冬は豪雪の経験が少ない若手農業者が、園芸ハウスの倒壊など大きな被害を受けてしまった。JAの営農指導が足りなかったのではないか。例外的な大雪ではあったが、豪雪地帯では予想できないレベルではなかったと思う。当地域で長年農業を続けている経験者の意見も営農指導に取り入れながら園芸振興を進めてほしい。

A 現在、風害も含めて丈夫なハウスについて研究中です。地域の経験豊富な農業者からアドバイスをいただき、指導事業に反映させ、組合員とともに園芸品目の産地づくりを進めてまいります。

Q JAネットバンクについて職員が率先して使い方を指導し、広く普及させることでJA事業利用につながるよう努力してもらいたい。

A 現在、JAネットバンクの普及状況は約2,300件となっていますが、JAの口座開設数と比較すると登録割合は2%強とまだまだ少ない状況です。JAネットバンク利用は組合員の利便性向上やコスト低減などにつながると考えています。職員がまだ十分に説明できない状況にあるため、まずは職員自らが利用し、研修も行いながら順次拡大を図ってまいります。

第20回 JAえちご上越農業賞 受賞者紹介



当地域で活躍する農業者を対象に、農業経営の改善や集団活動に意欲的に取り組み、顕著な業績を上げている経営体や集団を表彰する「JAえちご上越農業賞」。ここでは、今年度受賞した個人・団体の取り組みをご紹介します。

《農業経営改善部門》 ①地区 ②設立・就農年 ③経営形態 ④取り組み内容 ⑤ひとこと

たなべ せいいち 田邊 清一さん

- ①大島区田麦
- ②昭和55年就農
- ③個人(水稻・そば・育苗受託・作業受託)
- ④就農以来、集落の作業受託を通じ規模を拡大。妻と共に水稻栽培を行いながら、繁忙期には息子夫婦の協力を得て作業を行っている。条件の不利な中山間地域において、良質米生産、多収栽培の取り組みに成果をあげ、令和2年産水稻栽培では、取り組み品種全てにおいて地域の平均以上の品質・収量を確保。特に「つきあかり」では、基本技術の励行と細やかな肥培管理の実践で基準反収プラス200^{kg}以上の多収に成功している。「つきあかり」の多収コンテストでは最優秀賞を獲得した。また、田麦育苗組合の代表として、地域の稲作を支え、安定して集落に水稻苗を供給している。長年、大島旭地区の農業の担い手として活躍していて、地区の地域振興事業に尽力し、地元農業者から信頼されている。



- ⑤中山間地域の稲作は、天水田の水の管理や広い畦畔の除草など手がかかることも多いですが、受け継がれてきた農地や集落の暮らしを次の代に渡せるよう守り続けていきます。「田邊さんがつくったお米はおいしいね」と言っていただけのように、作業を一つずつ丁寧に行い、収量や食味の向上に取り組めます。

さえぐさ まさひと 三枝 正人さん

- ①大潟区吉崎新田
- ②平成19年就農
- ③個人(水稻・大豆・園芸・作業受託)
- ④平成19年に県外から移住し、妻の実家の農業を承継して農業経営を始める。家族経営で、水稻・大豆・園芸品目の複合経営を行いながら、加工品の製造販売を行う6次産業化にも取り組み、収入の安定化を図っている。就農以来、少しずつ経営面積を拡大しながら農業情勢の環境変化に柔軟に対応し、作業の効率化やコスト低減に努め、水稻栽培を中心に安定した農業経営を確立している。水稻では他の担い手との圃場交換による農地の面的集積を進め作業の効率化を図り、高い品質・収量を確保している。園芸では水稻を基軸として余力のある時期に作業ができる品目を選定し、1年を通して作業が途切れないようにしている。加工品では、地場産果実や自らが栽培した品目を利用してオリジナル商品を製造・販売している。JA事業や地域活動でもさまざまな役職を務め、地域からの信頼も厚い。



- ⑤地域農業の担い手として、これからも家族で力を合わせて米づくりや野菜づくりを続けていきます。また、加工事業では、地域性や独自性など付加価値が高い商品をどうやって作り出すかが課題。色々なアイデアを取り入れながら、地場産品を使った菓子の製造などにチャレンジしていきます。(三枝正人さんは右から2人目)

農事組合法人 ファーマーズ稲^{いな}

- ① 上越市稲
- ② 平成18年設立
- ③ 農事組合法人(水稻・大豆・園芸)
- ④ 地域の基盤整備を機に、集落営農組織立ち上げに向け機械共同利用者と地域の有志が集まり、平成18年に6戸の農家によって設立。水稻・大豆・園芸の複合経営に取り組み、野菜は直売所と市場出荷、生産資材は直送を利用するなど経営の安定化を図っている。設立以来、地域の受け皿として徐々に面積を拡大し、コスト低減や作業の効率化を進め、水稻を中心に堅実な事業を展開している。設立当初から園芸を導入し、積極的に複合経営を実践する模範的経営体である。水稻では、側条施肥をはじめ、一発元肥や除草剤の田植同時散布、最近では密苗やドローンを導入して作業人員の削減や作業労力の軽減を行い、コスト低減を図っている。園芸では重点品目のえだまめに取り組み、10.9畝の圃場で7品種による作期分散を図りながら有機質肥料投入による品質・食味の向上に取り組む。



- ⑤ 法人として、「集落の農地を守る」「近隣地域の農地を守る」「構成員の生命・財産を守る」ことを目標に取り組みできました。今後もビジョンを持ちながら持続的な経営に努めていきたいと思ひます。(丸山吉夫代表は前列左から2人目)

農事組合法人 おかざわ

- ① 中郷区岡沢
- ② 平成30年設立
- ③ 農事組合法人(水稻・そば・園芸・育苗受託)
- ④ 平成30年に地域の農業環境を保全し、地域農業発展に寄与することを目的に設立。中山間地域における43畝の大規模経営体であり、作業の効率化や土づくりの実践、従業員の雇用と育成にも力を入れ、水稻を中心とした事業を展開している。水稻では「産地パワーアップ事業」を活用し、トラクター・ドローン・コンバインの導入による作業の効率化・省力化を図っている。また、土づくり・地力向上対策として独自に籾殻堆肥の製造・散布を行っている。園芸では冬期間の収入確保に向け「にいがた農業応援ファンド」の活用で休耕地を畑地化し、今年度からタラの芽の栽培を開始。農地維持・栽培拡大に向け積極的に取り組んでいる。



- ⑤ 収入安定のための複合経営化が課題となりますが、まずは米の安定生産と、ブランド化を目指していきます。この度の受賞を励みに、法人経営の安定・拡大とともに地域農業の継続と発展に努めていきたいと思ひます。(岡田豊代表は前列左から4人目)

農業と地域で活躍する
現役アスリート



妙高市十日市
株式会社 米ファーム斐太
宮下一太さん(22)

10種競技中の宮下さん(左下写真3枚)。



スピーディーかつ丁寧に心を掛け作業を実施。



児童に分かりやすく、丁寧に指導。

妙高市斐太地区で水稻を中心に農業経営を行う(株)米ファーム斐太に、この春異色の新入社員が入社しました。農業従事者として働く一方で、現役の陸上競技選手としても活動する宮下一太さんです。小学生のころから陸上を始め、大学では陸上10種競技で活躍しました。大学卒業を機に地元へ帰ってきた宮下さんは、小さい頃から田んぼや畑で作業する父親の姿を見ていたこともあり、もともと関心を持っていた農業を仕事として選択。さらに現役選手として陸上を続けることを決めました。

今年4月に入社し、耕うんや代かき、草刈りといった作業を担当してきました。経験が浅いため、先輩社員のようにスピーディーかつ丁寧な代かきができず、最初は悩むこともありましたが、経験を積んで徐々に作業に慣れてくると、時間を短縮できるようになったそうです。これについて宮下さんは「陸上競技で色々なプロセスを見

直しながらタイムを削る感覚に通ずるものがあります」と話してくれました。また、「今後はもっと会社に貢献できるように日々努力していきたいです」と前向きな姿勢を見せる宮下さん。同社の先輩社員からは「競技にも仕事にも目標を持って取り組み、期待以上の活躍を見せてくれるので、我が社にいないではならない存在になっています」と高く評価されています。

宮下さんは母校の小学校から依頼を受け、週一回、平日に陸上のコーチとして指導を行います。「会社の協力もあり、指導をさせてもらって大変ありがたいです。子どもたちに陸上競技を教えながら、農業の魅力を伝えていけたらいいですね」と今後の目標を話します。

農業、選手、指導員としてマルチに活躍する宮下さん。その胸に「米ファーム斐太」のロゴを付けたユニホームで日本選手権に出場することを夢見て邁進していきます。

経営 メモ	水稻	130%
	大豆	25%
	園芸	2% (アスパラ菜、トウモロコシ、ピーマンほか)





第20回通常総代会で提出された令和3年度の事業計画について、営農部門の主な取り組みを教えてください。



令和3年度事業計画は、総代会資料『協同のあゆみ』の58ページから掲載しています。営農部門では【所得の向上につながる販売戦略】として、主要4銘柄(コシヒカリ・みずほの輝き・こしいぶき・つきあかり)について複数年契約栽培の取り組みを継続し、安定所得の確保を目指します。また、令和3年産主食用米の需給調整を図るため、飼料用米を中心とした水田活用米穀への転換も進めます。(現在、飼料用米をはじめとした非主食用米への転換などに対応するため、交付金交付までのつなぎ資金をご用意しました。詳細は17ページをご覧ください)

園芸では、未導入の担い手などに複合営農を推進し、えだまめ、ブロッコリー、キャベツなど重点園芸品目の作付けを提案します。また、生産農家とともに現地指導会の拡充により、基本技術の向上や、新技術の提案を行います。特に、えだまめの製品率向上と反収増加のため、基本技術と新技術の展示圃場を設置し

て取り組みを強化します。

そのほか、肥料・農薬・生産資材などの予約・共同購入の促進、「低価格共同購入トラクター」の販売を推進し、資材コストの低減と生産者の負担軽減に向けた取り組みを行うとともに、農機整備技術の向上と、機械寿命の延長支援講習会を実施します。また、鳥獣被害に的確に対応できる人材育成などを進め、皆さまの農業経営を支援していきます。

併せて、組合員・地域と一体となり、支店別農業振興計画を実践し、地域の実情に合った農業振興を目指していきます。



需要に基づいた「えちご上越米」生産を促進。



1品目1億円の産地づくりを目指して、えだまめなどを提案。



肥料・農薬などの予約・共同購入でコストを低減。

役員会だより(主な協議事項)

第3回理事会(5月26日開催)

- ・不良債権の処理方針(新規および変更)について
- ・会計監査人の報酬等の決定について
- ・第20回通常総代会終了後の経営管理委員会議案について
- ・令和3年度農家組合組織活動助成金の支払いについて
- ・支店の設備更新および改修について(中央・春日・泉)
- ・旧板倉給油所の解体および売却について
- ・出資口数の減少について
- ・貸出の承認について(金融機関向け仕組貸出)
- ・経営管理委員が代表する法人との請負および売買契約の締結について

第4回経営管理委員会(5月27日午前開催)

- ・経営管理委員が代表する法人との請負および売買契約の締結について

第4回理事会(5月27日総代会終了後開催)

- ・行政庁に提出する業務報告書について
- ・理事の報酬について
- ・役員賠償責任保険加入について

第5回経営管理委員会(5月27日総代会終了後開催)

- ・経営管理委員の報酬について
- ・役員賠償責任保険加入について

目次

20	19	18	16	15	14	13	12	11	8	6	4	2
うんまいレシビ	おたより広場	クロスワードパズル	J Aからのお知らせ	直売所通信	2021 営農生産ガイド	のお知らせ	営農情報	信用・共済	知って得する	今月の話題	F I A C E	通常総代会を 開催 受賞者紹介

JA えちご上越の組合員
39,819人
(令和3年5月末現在)

正組合員 17,055人
准組合員 22,764人

●氏名・住所・電話番号、組合員資格に変更があった場合は、JAまでご連絡ください。



たくさん収穫できるといいな！

宝田小学校2年生がサトイモの苗を定植



しっかりと根が張るよう丁寧にサトイモの苗を植える児童たち。

名立支店協同活動委員会では、地域活動の一環として、地元の宝田小学校2年生へサトイモの苗をプレゼントしました。

2年生の児童15人は、5月25日にサトイモ苗の定植に挑戦。畝に沿って一列に並び、一人3本ずつ苗を丁寧に植えていました。深く穴を掘ったり、根元にしっかりと土を被せる作業は、保護者やJA女性部、JA職員らがサポート。たくさんのサトイモが収穫できるように願いを込め、全員で力を合わせて作業を行いました。

今後は児童が水やりや肥料まきを行いながら、生育を観察していきます。10月には保護者や女性部と一緒に収穫作業を行う予定です。

たくさん食べて大きく育て

笹ヶ峰放牧場 開牧



広大な笹ヶ峰放牧場にやってきた牛たち。

妙高市の笹ヶ峰放牧場が5月28日に開牧しました。

牧場での放牧は牛の骨格強化と、体力作り、畜産農家の労力軽減が目的で行われます。

今年は上越市、妙高市のほか、糸魚川市や新潟市、五泉市など県内各地から乳牛や肉用牛が笹ヶ峰放牧場にやって来ました。初日は84頭の牛がトラックで運ばれ、削蹄や体重測定、予防接種を行った後、広大な牧場へ放されました。

面積108㌔の笹ヶ峰放牧場は、標高1,300mの高地にあつて涼しく、牧場内には複数の湧水があるため、牛たちにとって過ごしやすい環境です。10月下旬までの約5カ月の間、たくさん草を食べて大きくなります。

地域の主力作物の米づくりを学ぶ

国府小学校5年生が田植え実習



児童に指の使い方など、植え方を指導する職員。

5月26日に国府小学校の5年生66人が、1年間を通して米づくりを学ぶ総合学習の授業で田植えを行いました。地域の農家から17㌔の田んぼを借りて、「みずほの輝き」の移植に挑戦しました。

児童は、まずJAの営農指導員から苗を植える深さや、植えるときの指の使い方などを学びました。田んぼの両側に向かい合うように並び、おそろおそろ裸足で田んぼに入ると一斉に悲鳴をあげていました。中には慣れない田んぼの泥にしばらく動けなくなってしまう児童も。しかし時間が経つにつれ泥にも慣れ、自分の受け持つ4~6条を丁寧に植えていきました。畔で苗を追加する教員や保護者のボランティアに「(苗の)おかわりください！」と大きな声が飛び交いました。

いろいろな野菜を大切に育てよう

柿崎小学校2年生が野菜栽培に挑戦



仲間と力を合わせて苗を植えたり、支柱を立てたりしていました。

柿崎小学校の2年生35人は自然を大切にすることを学ぶため、トマトやキュウリ、ピーマン、サツマイモなど10種類以上の野菜の栽培に挑戦しています。野菜苗は、はまなす支店協同活動委員会が子どもたちの食農教育の一環としてプレゼントしました。

また5月28日には、浦川原区の相澤誠一さん((株)エー・エフ グリーン代表)から、上越地域で古くから栽培されている「上越丸えんぴつナス」の苗40本を分けてもらい、定植作業を行いました。児童は相澤さんから苗を上手に植えるコツや、えんぴつナスのおいしい食べ方について聞き、「大きなナスがとれたらナスのステーキをつくって、家族に食べさせてあげたい！」と収穫に期待を寄せていました。

JAえちご上越の話題はフェイスブックなどで配信中!

スマホ対応に
リニューアル!!

こころ耕し、いのち育む。
JAえちご上越
ホームページ

JA えちご上越

検索



JA えちご上越
フェイスブックはこちら➔



旬の情報が満載!
SNS もあります

上越あるん村
ホームページ

上越あるん村

検索



地域の高齢者のお役に立ちたい

女性部名立地区 ふれあいの里・名立にタオル寄贈



タオルを受け取った小林さん(右)は、「大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。

女性部名立地区は5月28日、各家庭から集めたタオルを地元の小規模多機能型居宅介護施設「ふれあいの里・名立」に寄贈しました。同女性部では、同じ地域で暮らす仲間として施設運営の一助となるよう、毎年タオルを寄贈しています。

同日、女性部の高宮照代部長と高齢者福祉部長、名立支店職員がふれあいの里を訪問し、寄贈式を実施。高宮部長は、施設の利用者や職員らに向けて「皆さんが毎日元気に過ごせるよう、女性部もお役に立てればと思っています。部員からたくさんタオルを預かってきましたので、ぜひ使ってください」とあいさつ。施設利用者を代表して小林秀夫さんがタオルを受け取りました。

これからも自分磨きにチャレンジ

女性大学「さくらカレッジ」 7期生卒業式



修了証書を受け取った7期生と学長の羽深理事長、副学長の高宮照代女性部長(中央)。

さまざまな講座を通して自分磨きを目指す、JAの女性大学「さくらカレッジ」では、7期生の卒業式を6月16日に行いました。受講生は、学長の羽深真一理事長から修了証書を受け取り、1年間のカリキュラムを振り返っていました。

卒業式の後は、雑誌『家の光』の記事を参考にした手芸教室を実施。色画用紙を使って、カラフルな花びらが飛び出すメッセージカードを作りました。

JAでは1年を通して農業や食、文化などを学びながら仲間を増やし、毎日の生活をより豊かにすることを目的に、平成26年から「さくらカレッジ」を開催しています。これまで約100人が受講し、修了生の多くは女性部やフレッシュミズ組織などで活躍しています。

農家の力を結集して地域活性化へ

JA青年部 第8回通常総会



出席した青年部盟友の前であいさつする荒川部長。

青年部は6月15日、JA本店で第8回通常総会を行い、本部役員や事務局などが出席しました。議長には、本部部長の荒川正義さんを任命。令和3年度の事業計画など全ての議案が可決承認されました。

今年度は新たに地域への食料支援に取り組むことを決定。今後、各支部の部員に米の寄付を呼びかけていきます。

荒川部長は、「農家は自分の田畑だけでなく、地域をどう良くしていくか考えていかなければならない時代。青年部が先頭に立って地域を盛り上げられるよう、親交を深めながら活動を行っていきたいと思います」と意気込みを語りました。

より良い家族のカタチを残すために

セレモニーサービス課 終活セミナー



いざという時に困らないよう相続や遺言、後見制度について学びました。

セレモニーサービス課は6月15日、上越支店で終活セミナーを行いました。地域の組合員ら18人が参加し、相続に関する講演を聞いたり、金封書き講座やフラワーアレンジメントに挑戦しました。

講演は、(一社)きたしろ相続相談センターの荒川新理事長が「専門用語を使わない相続・遺言・後見講座」をテーマに、相続準備で役立つ情報や、遺言書を作る上での注意点、後見制度の概要などを紹介。「相続はもめないことが一番。残された家族が争わないで済むように準備をしておきましょう」と解説しました。



実際にえだまめを作付けする生産者から講習を受ける参加者。

販売額1億円を目指して高品質えだまめの栽培へ えだまめ部会 現地指導会

えだまめ部会は、えだまめの販売額1億円を掲げ、品質・収量アップに向けた現地指導会を各地で行っています。

6月10日には三和区の圃場で指導会を開催し、上越地域の生産者約30人が参加しました。営農指導員と上越農業普及指導センター、見学圃場の生産者が講師となり、雑草や排水対策、病虫害防除などについて確認しました。特に梅雨の時期は、うね間や圃場に水を溜めないことが品質向上のポイントだと話

し、早めの管理を呼びかけました。

また、同部会は生育早見表による開花日・収穫日の管理や、営農指導員巡回時に生産チェックシートを活用した生産管理を行い、高品質栽培に取り組むことを申し合わせました。



Point!

JAではサテライト選別場を増やし、出荷品受入体制を強化して、販売額1億円突破を目指します。

適期管理で品質向上と反収アップへ 中干し現地指導会で生育状況を確認



実際に現在の生育状況を確認し、中干し開始のタイミングを診断しました。

令和3年産の「えちご上越米」の品質向上と収量確保に向け、6月2日から21日にかけて150以上の会場で中干し現地指導会を行いました。

6月3日には、吉川支店前で指導会を開催し、地元の生産者11人が参加しました。営農指導員が圃場に入って茎数や葉齢など生育状況を調査し、中干し開始時期を診断。また、「コシヒカリ」や「つきあかり」などの品種特性を改めて確認し、品種ごとに今後の気象変動に対応した栽培管理を行うよう呼びかけました。

地域一体で鳥獣被害防止策に取り組む 上越市鳥獣被害防止対策協議会 集落環境診断を実施



集落の田畑や川の近くなどを巡回し、鳥獣が出没しやすい場所を確認しました。

上越市やJA、猟友会などで組織する「上越市鳥獣被害防止対策協議会」では年々深刻化する鳥獣被害を食い止めるため、住民参加型の「集落環境診断」を導入し、イノシシなどが出没しにくい環境づくりを推進しています。

「集落環境診断」は外部専門家の意見を参考に、現地調査や被害原因の分析、対策の立案・実行、効果検証など一連の工程に取り組むもの。今年度は市内4地区で実施しています。

6月3日には吉川区河沢集落に関係者が集まり、町内会役員と一緒に集落内を巡回し、イノシシが出没しやすい場所を確認しました。町内会長の江村昇さんは、「鳥獣被害は年々ひどくなり、個人ではどうすることもできない。集落全体で意識を高めながらノウハウを身に付け、皆で集落の環境を守っていきたいと思います」と話していました。



Point!

今年度は「生育調査圃」を82カ所に設けて定期的に調査を行い、生育状況に応じた効果的な指導に努めています。



Point!

JAでは、協議会の一員として取り組むほか、的確に対応できる職員育成も進めています。



進めよう! 国産消費国産

国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産



[今回のテーマ]

食料自給率
38%で大丈夫?

日本で必要とする食料を、いつまでも外国から輸入できるとは限りません。食料自給率を高める必要があります。



食料自給率向上のために

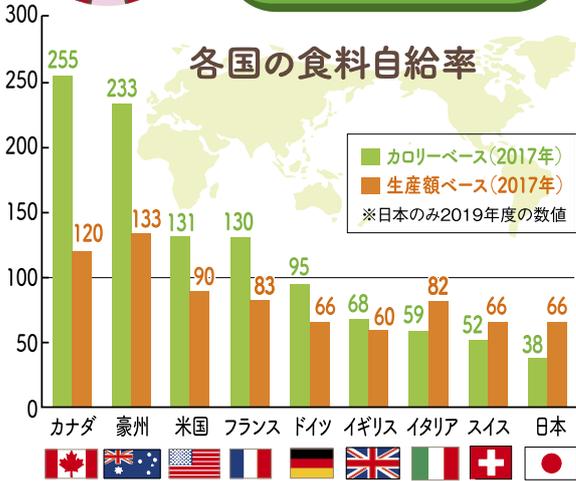
1. 「いまが旬」の食べものを選びましょう
2. 地元でとれる食材を日々の食事にかしましよ
3. ごはんを中心に、野菜をたっぷり使ったバランスのよい食事を心がけ、しっかり朝ごはんを食べましょ
4. 食べ残しを減らしましよ
5. 自給率向上を図るさまざまな取り組みを知り、試し、応援しましよ

日本の食料自給率は2019年度、カロリーベースで38%。先進国の中で最低で、食べものの多くを外国に頼っています。一方、コロナ禍で自国の需要を優先させて食料輸出を制限した国もあります。2030年度までに政府は食料自給率を45%まで上げる目標を設定しました。食料自給率を上げるには、農業者数や農地面積を増やし、消費者が国産食材を積極的に選んで農家を応援するなど、国民が力を合わせて取り組んでいくことが大切です。

農林水産省「フード・アクション・ニッポン」から抜粋



耕そう、大地と地域の未来。



出典:農林水産省「食料需給表」、FAO「Food Balance Sheets」等を基に農林水産省が試算(アルコール類等は含まない)

地域の皆さまの暮らしを応援!

知って得する信用・共済

~JAえちご上越 生活応援プラン~

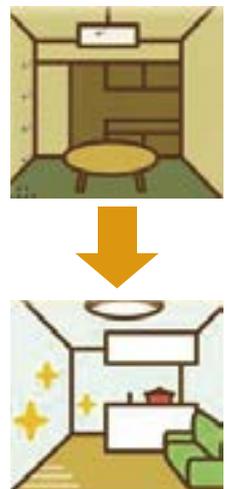
融資課からのお知らせ 現在、JAではリフォームローンキャンペーン「生活応援プラン」を開催中。お得なキャンペーン金利でのご利用が可能となっておりますので、住宅リフォームをご検討されている方は、ぜひ一度、お近くのJA窓口までご相談ください。

リフォームローンキャンペーン 令和3年5月1日(土)~令和4年2月28日(月)

キャンペーン特別金利 **年1.00%** (変動金利・保証料別途)

お借入限度額 **500万円** (無担保)

貸出期間 **最長15年**



※借入期間が10年超の場合は1.50% (変動金利・保証料別途)となります。
 ※新潟県農業信用基金協会の保証を受けていただく必要があります。保証料率は0.20%です。
 ※上記金利はお借入れ当初に適用されるものです。お借入れ後の適用金利は、当JA所定の短期プライムレートの連動に伴い変動します。
 ※キャンペーン金利は金利情勢の変化により、見直しさせていただく場合があります。
 JAリフォームローン(変動金利型):店頭標準金利 年3.475% (令和3年6月1日現在)
 ※商品の詳しい内容については、店頭に説明書をご用意しているほか、返済額の試算も承っております。
 ※返済条件を変更する場合、別途手数料が必要になる場合があります。

お問い合わせ先
最寄りのJA窓口、またはローン営業センター
(☎0120-266-500)まで。

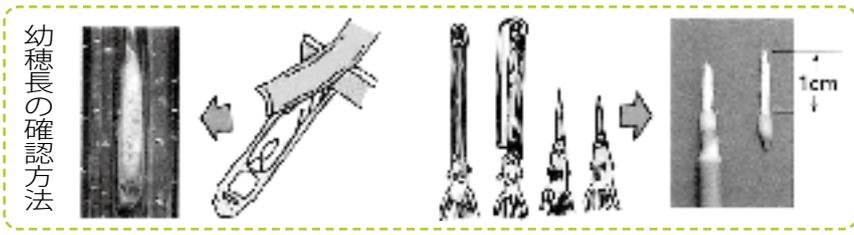


「高品質米生産コシヒカリスケール」で 適期適量の穂肥施用をしましょう！

コシヒカリの穂肥時期から出穂期、収穫期まで予想できる「後期生育ステージ早見盤」「適正穂肥早見盤」の使い方

品質向上と反収15^キアップを目指そう
7月は穂肥！生育診断で穂肥時期と量を決めよう

1. 幼穂長で出穂前日数を診断



出穂前日数(日)	幼穂長(センチ)
24	0.1
20	0.2
18	0.5~1.0
12	4.0~6.0

幼穂長と出穂前日数の関係(コシヒカリの場合)

幼穂の長さの測り方 幼穂形成期(幼穂長が0.1センチのころ)に生育診断

- 圃場内の平均的な生育の稲を2株程度選ぶ。
- 1つの株の中で1番長い茎とその次に長い茎を選び、株元から茎を引き抜いて幼穂長を確認する。

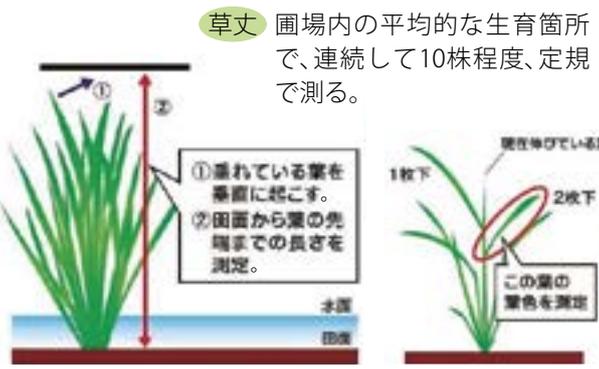
後期生育ステージ早見盤



(例) 平坦地の圃場で、7月9日に幼穂長0.1センチを確認。スケールの生育ステージ「ア」に「7月9日」を合わせると、1回目の穂肥施用時期は「7月15日」と表示された。

2. 草丈と葉色、茎数で穂肥施用時期と量を診断

幼穂形成期(幼穂長が0.1センチ、出穂前24日ころ)に草丈と葉色を測定



- 草丈** 圃場内の平均的な生育箇所ので、連続して10株程度、定規で測る。
- 葉色**
- 平均的な生育の稲で最も長い茎を選ぶ。
 - その茎の中で、現在伸びている葉の2枚下の葉を選ぶ。
 - 葉色板から1センチ程度離して色を比較する。



適正穂肥早見盤



(例) スケールの円盤を回して、生育診断の結果に合わせて、矢印の下部に「A」と表示された。スケール右の「診断対応表」から、1回目の窒素施用量は1.5kg/10aだと分かった。

穂肥のポイント

- 高温時** 葉色が薄く出穂後の高温が予想される場合は、出穂3日前までに追肥を行う。
- ◎有機質50%以上の肥料は、2~3日程度施用時期を早める。
- ◎元肥一発肥料でも、葉色が低下した場合は穂肥を行う。

第1回 新潟県産ナスの販売拡大の可能性を探る！ NIIGATA ナスサミットのお知らせ

主催：NIIGATA ナスサミット実行委員会

新潟県はナス王国と言われ、越の丸なすや十全なすをはじめ、特徴ある在来種が多く栽培されています。その一方で、産地の高齢化や後継者不足、特定の地域でのみ生産されているため有利販売ができないなどの悩みも多く、品種によっては絶滅の危機にあります。

ナスは露地でも栽培ができ収益性も高い品目です。園芸振興の機運が高まっている今、生産者や消費者から「新潟のナスは個性豊かでおいしい！」と広く再認識していただき、更なる販売拡大につなげるための「ナスサミット」を開催します。

開催日時 令和3年
7月17日(土)午前9時30分～午後4時

開催場所 上越あるるん村(上越市大道福田639)



※写真は令和元年開催のプレサミットの様子。

会場①【あるるん畑】午前9時30分～

- ・県内のさまざまなナスを展示。さらに各産地のナスの即売会も実施。
- ・上越市内の小学生が育てたナスの品評会(3校が参加)。
- ・小学生のナス栽培の様子を紹介するパネル展示。

会場②【あるるんの杜レストラン「六花の里」】午前11時～

- ・各産地のナスを使ったメニューが登場(15ページもご覧ください)。

会場③【あるるんの杜】午後1時～

- ・県内の各産地や直売所がリモートでプレゼンテーション。その模様をYouTubeライブ配信。



お問い合わせ先 園芸畜産課(TEL:025-521-5181)

ハウス・農業機械などの導入で園芸生産の拡大を目指す方へ

園芸生産の導入・拡大をお考えの方は、園芸用ハウスなどを補助・リースで導入できる事業がありますので、各営農センターまたは園芸畜産課へお気軽にお問い合わせください。

■ 主な要件 ・農地所有適格法人、農業者などの組織する団体 ※事業ごとに要件が異なります。

■ 導入機械の一例 ・園芸用ビニールハウス ・管理機 ・移植機 ・収穫機

■ お問い合わせ先

- ・わかば営農センター TEL:025-599-2028 ・頸南営農センター TEL:0255-78-2475
- ・頸北営農センター TEL:025-530-3000 ・園芸畜産課 TEL:025-521-5181
- ・上越営農センター TEL:025-523-5075



バランスの良い土づくりで生産コストを低減 土壌診断(分析)の受付を行っています

作物を正常に生育させるためには、土壌中の養分状態を作物が要求する量に調節するとともに、ほかの成分とのバランスも取らなければなりません。そのためには、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握する「土壌診断」が必要です。土壌診断に基づいた適正な施肥で、収量の安定化と生産コストの低減に取り組みましょう。



- 受付期間 通年(受付順に分析をJA全農に依頼します。例年10月から12月は混雑しますので、できるだけ混雑時期を避けてお申し込みください。また、分析結果が出るまで1ヵ月以上かかることがありますので、予めご了承ください)
- 分析料金 無料(料金変更の場合は改めてお知らせします)
- その他 申し込み方法や土壌サンプルの採取方法については、営農センターにご確認ください。
- お問い合わせ先 各営農センター、または農業対策課(TEL:025-527-2050)



生産拡大・コスト低減を目指して 営農生産ガイド2021

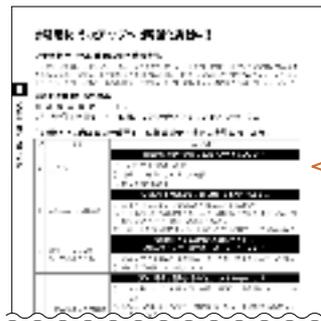
～生産資材の予約申込から栽培指針、農業融資情報まで通年で利用できる～

「生産指導から購買・販売まで途切れることのない組合員対応」を目指して、皆さまの期待に応える体制づくりを進めるとともに、生産資材予約申込書に加え、各種営農情報を掲載した営農生産ガイドを配付しています。今年度の営農生産ガイドは、「水稲反収15キロアップへの指導強化」「スマート農業への取組み」「園芸振興のための直売所等の活用」「鳥獣被害防止対策」などの情報を追加・拡充しています。ぜひ、ご活用ください。



ガイドは
7月上旬から配付予定。
各地区の説明会に
ご参加ください

各種営農情報をさらにプラス！



水稲反収15キロアップへの指導強化の情報を掲載



スマート農業への取組み情報を掲載

JAの生産資材は営農指導付き！



担当者連絡先を掲載。皆さまの生産活動をサポートします。



園芸振興のための直売所の活用等の情報を掲載



増加している鳥獣被害に対する鳥獣被害防止対策の情報を掲載

これからも **協同** の力を結集して生産資材の低コスト化を実現します。
ぜひ **JAへご予約** をお願いします！



☀️ 農作業中の熱中症に注意！

近年、農作業中の熱中症による死亡事故は増加傾向にあり、昨年は調査開始以降で2番目に多い死亡者数となりました。特に気温が高い7・8月は注意が必要です。気が付かないうちに熱中症にかかっている場合も多く、高齢の方は脱水しやすいので、こまめな水分・塩分補給や休憩を取るようにしましょう。

熱中症が疑われる場合は

暑い環境で体調不良の症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう。

☀️ 代表的な症状は右記のとおりですが、熱中症には特徴的な症状がなく、「暑い環境での体調不良」は全て熱中症の可能性があります。

手足がしびれる、冷たい

めまい、吐き気がする

ズキンズキンとする頭痛がある

汗をかかない、体が熱い

意識の障害がある

体がだるい

まっすぐに歩けない



熱中症警戒アラートを活用しましょう

「熱中症警戒アラート」は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日または当日に、都道府県ごとに発表されます。発表された日は、外出を控える、エアコンを使用するなどの対策を積極的に行いましょう。



上越あるん村

夏のスタミナ特集

期間: 7/17(土)~25(日)

国産ウナギやくびき和牛、みずみずしい地場産野菜などを集中的に販売します。しっかり食べて暑い夏を乗り切りましょう！

お買い物やお出かけの合間には、冷たいドリンクやジェラートもおすすです。



ジェラートは日替りです！



期間中、お楽しみガラポン抽選会を開催！

ウナギや肉、旬のフルーツセットなど豪華景品が当たるチャンス

あるん村・浦川原物産館

出荷会員大募集中

直売所の出荷会員をまだまだ募集中です。愛情を込めて育てた自慢の野菜を販売してみませんか？

職員が丁寧に説明しますので、まずはお問い合わせください。



生産から販売までの流れや出荷規格、手数料などについて分かりやすくお話しします。気になることは何でもお聞きください！

あるん畑 本間

代表連絡先:あるん畑
またの
亦野店長、本間副店長
TEL:025-525-1183

NIIGATA ナスサミット 7/17(土)

特別メニューが登場します！

あるん村の杜レストラン「六花の里」では、直江津地区の「居食屋 YAGAIYA」とのコラボランチプレートが数量限定で登場。地場産ナスをメインに、旬の野菜を使用した特別メニューです。

お楽しみに♪

※ナスサミットの詳細は13ページをご覧ください。



浦川原物産館 おすすめ品



地場産加工品コーナー

笹だんごや豆腐、手づくりこんにゃく、エゴなど地元生産者が丁寧に作った加工品がそろっています。



かあちゃんの手芸品コーナー

手づくりのバッグや財布、マスク、エプロンなど豊富に販売しています。世界に一つだけのお気に入りの品を見つけてみませんか？

掲載内容に関するお問い合わせ先 上越あるん村(代表TEL:025-525-1183)、浦川原物産館(TEL:025-599-2387)

あるるん畑利用組合 主催 あぐりコミュニティ食堂を開催します！

本来は食べられるはずの食品が廃棄されてしまう「食品ロス」について考えるとともに、「フードバンクじょうえつ」（くびき野NPOサポートセンター）の活動に理解を深めていただけるようあぐりコミュニティ食堂をオープンします！



内容

あるるん畑の出荷農家が持ち寄った余剰野菜（規格外のため出荷できなかった野菜など）を利用した弁当を食べながら、「フードバンクじょうえつ」の一人親世帯への食料支援事業について話をお聞きます。また、会場内にはフードロスに関する資料を掲示しますのでご覧ください。



- 日時 令和3年7月31日(土)午後6時から(1時間程度)
- 会場 あるるんの杜レストラン「六花の里」
- 募集人数 30人程度
(※申し込み多数の場合は、感染症防止の観点から人数を制限させていただく場合があります)
- 参加費 大人お一人200円 中学生以下は無料
- お問い合わせ・お申し込み先
あるるん畑(TEL:025-525-1183)

1day インターンシップ 開催のお知らせ

「JAでは一体どんな仕事をしているのだろうか？」そう思っている学生の皆さんの疑問を解消すべく、インターンシップを開催します。JAや地域貢献できる仕事に興味のある方は、ぜひご参加ください。



- 日時 令和3年8月12日(木)午前9時～午後4時
(受付は午前8時45分から)
- 会場 JAえちご上越本店 本館3階(上越市藤巻5番30号)
- 参加対象 令和5年春卒業予定の大学院生、大学生、短大生、専門学校生対象。
※学部・学科は一切不問。特別な知識・資格などは必要ありません。
- 内容 オリエンテーション、JA組織の説明、施設見学、若手職員の体験発表、仕事内容の紹介、グループディスカッション。
※昼食はこちらで用意します。
- 定員 10人程度
- 申込方法 「にいがた就職応援団ナビ2023」のホームページからエントリーしてください。
↑お申し込みはこちら
- お問い合わせ先 人事教育課(TEL:025-527-2001)



↑お申し込みはこちら

組合員届出事項の確認についてのお知らせ

当JAでは、組合員の皆さまの個人情報適正管理のため、以下の項目について確認させていただいております。変更などがある場合は、JAへ届出いただく必要があります。つきましては、該当した場合には、最寄りの支店にご一報願います。

1氏名 2住所 3電話番号 4組合員資格(※)

※JAは、組合員を中心とした組織であり、組合員資格について大きく分けて、農業生産を行っている正組合員と、農業生産を行っていない准組合員に区別されます。

JAでは、個人の方の農業生産の指標として、①10㎡以上の農地を耕作すること、②1年のうち30日以上農業に従事することとし、これらの指標を満たす地区内に住所または耕作地などを有する者を正組合員としています。そのため、諸般の事情により農業生産の指標を満たされなくなった場合は、申し出により准組合員への資格変更が必要となります。

- お問い合わせ先
各支店・出張所または総務課(TEL:025-527-2001)

新潟県農業大学校 令和4年度入校生の募集について

農業大学校(新潟市西蒲区)では下記の通り、学生を募集しています。

募集定員

学科	専攻部門	定員
稲作経営科	稲作専攻	40人程度
	野菜専攻	
園芸経営科	果樹専攻	30人程度
	花き専攻	
畜産経営科	酪農専攻	10人程度
	肉畜専攻	

試験日程

試験区分	出願期間	試験期日
推薦入校	令和3年10月 4日(月) ～10月 8日(金)	令和3年11月 2日(火)
一般入校 前期	令和3年11月15日(月) ～11月19日(金)	令和3年12月10日(金)
一般入校 中期	令和4年 1月11日(火) ～ 1月14日(金)	令和4年 1月28日(金)



- お問い合わせ先 新潟県農業大学校 教育科(TEL:0256-72-0133) ホームページは <http://www.pref.niigata.lg.jp/site/nogyodai/>



組合員からの情報提供窓口設置について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農業協同組合法第35条の5および農業協同組合法施行規則第81条、ならびに監事会規則第16条にもとづき、経営管理委員および理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を求めています。

当組合の経営管理委員および理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば、電話または封書にて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

えちご上越農業協同組合 監事会

連絡先：住所 〒943-0817 上越市藤巻5番30号
電話番号 025-527-2010
部署名 監査部
受付監事 常勤監事 伊倉 勝 宛

※お電話の場合は、月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時にお願いいたします。
 ※当組合の業務に関する一般的な苦情については、各支店・出張所・施設にて相談窓口を設置しておりますので、そちらへお申し出ください。
 ※ご好意による情報提供であっても、匿名や誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

JA交付金等つなぎ資金に関するご案内

飼料用米をはじめとした非主食用米への転換などに対応するため、交付金交付までのつなぎ資金を融通することで「資金繰り支援」を行います。

資金用途	下記の各種交付金受領までのつなぎ資金 ※生活資金及び負債性資金の借入は対象外です。
対象交付金	・畑作物の直接支払交付金 ・米・畑作物の収入減少影響緩和交付金 ・水田活用の直接支払交付金
借入限度額	支払われる交付金等相当額のうちJA口座に入金される金額の範囲内
借入期間	1年以内 (交付金が入金された際、速やかに償還する)
借入利率	年0.75% (取扱期間中の特別金利)
取扱期間	令和3年7月1日(木)～令和4年2月28日(月)

※お申し込みの際に、JA所定の審査をさせていただきます。なお、審査内容によってはご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

■お問い合わせ先 最寄りの各支店

JAマイカーサマーキャンペーン実施中

働く人たちが
選んだ軽トラ
JAハイゼット

期間中、**JAハイゼット**のご成約で**新潟県産農畜産物**をもれなくプレゼント！
 この機会に、ぜひお近くのJAカーセンターまでご相談ください。



全車、オートライト機能搭載。スマートアシストⅢt車はLEDヘッドランプおよびバックソナーを標準装備！

■キャンペーン期間 令和3年7月31日まで

■対象店舗・お問い合わせ先

カーセンター中央(上越市鴨島1196) TEL:025-525-6515
 カーセンター北(吉川区原之町169-1) TEL:025-548-2202
 カーセンター東(板倉区針1385) TEL:0255-78-2337
 カーセンター南(妙高市関山1190) TEL:0255-82-2112

新潟ダイハツ齊展示会 開催のお知らせ



おすすめモデルの新車が勢ぞろい！お得に乗り換えるなら今がチャンスです。詳しくはイベント直近の新聞折り込みチラシをご覧ください。

■日時 令和3年7月10日(土)～18日(日)午前9時～午後5時
 ■対象店舗 カーセンター中央・カーセンター北

LINE 営農情報LINE公式アカウント 友だち募集中！

営農部では、タイムリーな営農情報を発信する公式LINEアカウントを開設します。準備が整い次第、営農生産活動に役立つ情報をお届けしていきますので、生産者の皆さまの登録をお待ちしています。



ID: @618zoxpw

◎友だち登録は、右のコードを読み取るか、ID検索からお願いします。(※6月18日現在、アカウント認証申請中)

■お問い合わせ先 農業対策課(Tel:025-527-2050)

ご葬儀・ご法要は

JAセレモニーサービス フリーアクセス **0120-971-959**

年中
無休

24時間
対応

虹の会会員募集中
「会員の3大特典あり」

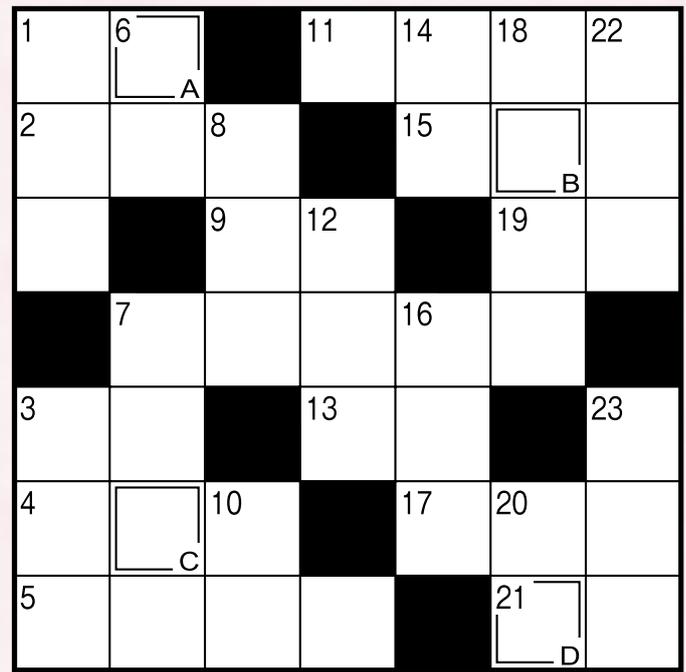
虹のホール いなだ 025(527)2077
 虹のホール あらい 0255(70)0101

虹のホール おおがた 025(535)1210
 虹のホール なおえつ 025(544)1044

クロスワードパズル

出題:ニコリ

二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え

A	B	C	D
---	---	---	---

タテのカギ

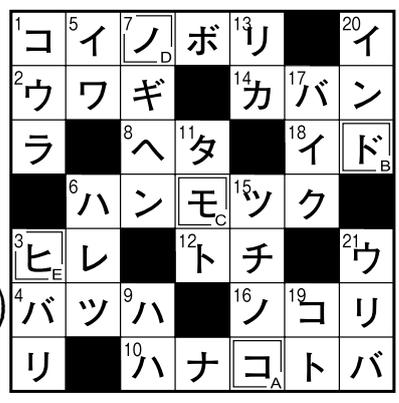
- ① 仙人が食べているというもの
- ③ 学校を出て家まで帰ること
- ⑥ 年齢を数えるときに使う言葉
- ⑦ ラジオから1970—の曲が流れてきた
- ⑧ この虫が作る繭から絹が取れます
- ⑩ 下から5桁目です
- ⑫ ものは—だ、まずやってみよう
- ⑭ サーフインやヨットを楽しむ場所
- ⑯ 「やれ打つな蠅(はえ)が手をすり足をする」は小林—の句です
- ⑰ 日本髪に挿す飾り
- ⑲ ゆでたそうめんの水を切るときに使います
- ⑳ 親同士が兄弟姉妹です
- ㉓ 将棋に似た西洋のゲーム

ヨコのカギ

- ① 雨や日光を避けるために差します
- ② 緑に黒のしまがある果実
- ③ 増(ぞう)の反対語
- ④ ヤッホーと叫ぶとヤッホーと返します
- ⑤ 片目をパチンとつぶります
- ⑦ キャッツアイとも呼ばれる宝石
- ⑨ 木材を薄く加工した物
- ⑪ 一つ目小僧とか小豆洗いとか。—変化
- ⑬ 量より重視されることもあります
- ⑮ 爽やかな香りのするハーブ。ペパー—
- ⑰ つぼ焼きにするとおいしい貝
- ⑲ 漢字で書くと雑魚。取るに足りないもの
- ㉒ みんな出掛けている状態

5月号の答え

答え
「コドモノヒ」



応募総数は
132通でした。



広報担当のつぶやき

中学からの友人に誘われて最近ソフトテニスを始めました。ラケットを握るのは中学生以来で思った以上にへたっぴでしたが、外で体を動かして汗をかくだけでも気持ちがいい！もともとインドア派で、さらにコロナ禍で出不精になっていましたが、この夏は太陽の光を浴びに目いっぱいテニスコートに通いたいと思います。



(宮・明)

今月のプレゼント

エーコープ

国産小麦粉づくりの冷し中華(3人前×4個)を10名さまに

エーコープの「国産小麦粉づくりの冷し中華」は、国産小麦100%使用のちぢれ麺だからスープによく絡む！スープは国産黒酢を使用しています。エーコープマーク品は、安全・安心な国内産食品原材料を優先して使用。主原料が国産100%の商品には、オリジナルの「国産愛用マーク」が表示されています。

黒酢とりんご果汁の
まろやかスープ付



おたより広場

今月のテーマ

短冊に願いを…

あなたの七夕の願いごとは？

一にも、二にも、コロナ終息です。早く以前の自由な生活に戻りますように。

(中郷区 S・Nさん)

早くコロナが治まり、大好きなデイズニールランド・デイズニールへみんなで行きたいです。

(浦川原区 M・Kさん)

皆が健康で暮らせますように…

(柿崎区 K・Kさん)

孫が運動会でケガをしないよう活躍してほしいのと、そもそも運動会がありますようお願いします！

(上越市 K・Tさん)

我が家は9人家族で大変賑やかな日々を送っています。7カ月のひ孫が1人います。家族全員が健康で、ひ孫の健やかな成長

をただただ願っております。

(浦川原区 F・Hさん)

愛犬がもうすぐ16才。少しでも長く生きてほしいと家族みんなで願っています。

(上越市 S・Yさん)

いつも笑顔で畑仕事ができますように…

(妙高市 H・Sさん)

どうか良い米ができ、米価も下がらず、お金が貯まりますように…

(吉川区 M・Hさん)

畑の野菜が動物に食べられませんように…

(安塚区 T・Aさん)

テーマ以外のおたより紹介

F・A・C・Eに登場した若い農業従事者の方々を見ると頼もしく感じます。魅力ある農業(収入・やりがい・かっこよさ)を目指し、JAさんからのバックアップをお願いします。

(上越市 O・Hさん)

6月号のトマトの表紙がとてもインパクトありました。私をトマト好きにしてくれたような気になりました。もっとトマトを食べていきます。

(上越市 T・Kさん)

家の畑で今年初のキュウリがとれました。とてもおいしくいただきました。

(大潟区 I・Z)

乾燥ヨモギの生産拡大の記事を見て、子どもの頃(40数年前)祖母が乾燥ヨモギを出荷していたことを思い出しました。ヨモギの葉をしいたり、乾燥した物の袋詰めを手伝ったり。一緒に過ごした時間…。ヨモギの香り…。懐かしいなと思いました。

(上越市 E・Cさん)

今月もたくさんのおたより、ありがとうございました。金・洋は子どもたちが素直で、まっすぐに成長してくれますように！と七夕でお願いします。

次号のテーマ

照りつける太陽！

あなたにとって夏と言えば？

パズルの答えと一緒に「おたより」もお待ちしています♪

テーマへのご意見や日々の出来事など何でもOK！絵手紙やイラスト、俳句などもお寄せください。応募された作品の返却はできませんので、ご了承ください。皆さまの投稿をお待ちしています。

※郵便料金の不足にご注意ください。通常はがきは63円です。

『①パズルの答え、②郵便番号・住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報誌の感想、おたよりなど』を記入し、ハガキまたは封書にてご応募ください。正解者の中から抽選で、「国産小麦粉づくりの冷し中華(3人前×4個)」を10名さまにプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ハガキまたは封書に基づく個人情報は賞品の発送、おたよりなどの掲載に利用します。

切手	〒943-0817	①パズルの答え ②郵便番号・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報誌の感想、おたよりなど
	上越市藤巻5番30号	
広報クイズ係	JAえちご上越	



7月のうんまいレシピ

今月の料理当番

あるん畑

旬を迎えたオクラなど地場産の夏野菜の消費拡大に向けて、あるん畑スタッフがレシピを考案しました。カレー風味で食欲がそそられる、いつもの一味違った揚げびたしはいかがでしょうか？

ポイントは、適度な歯ごたえを残すために野菜を揚げ過ぎないこと。少し固めでも調味液につけておくと、しんなり柔らかくなります。

夏野菜のカレー風味揚げびたし

材料

オクラ……………1袋(6~8本程度)
ズッキーニ……………1/2本
ミニトマト……………6個
越の丸なす……………1/2個

お好みの夏野菜を使いましょう！

サラダ油(揚げ油)……………適量
麵つゆ(ストレート)…250ml
A ケチャップ……………大さじ1
カレー粉……………小さじ1/2

作り方

- 1 小鍋に材料Aの調味料を入れて混ぜ合わせ、弱火にかけて溶かしたら粗熱をとっておく。
- 2 ミニトマトのヘタをとっておく。ほかの野菜は食べやすい大きさに切る。
- 3 160~180℃に熱したサラダ油で2の野菜を素揚げする。
- 4 3が熱いうちに1の調味液につけたら、ラップまたはフタをして1時間ほど冷蔵庫で冷やす。味がなじんだら完成。

今月の食材



オクラ

アフリカ原産で暑さに強く、育てやすいことが特徴。独特のネバネバ成分を持ち、ビタミン類も豊富な夏野菜です。緑色が濃く鮮やかで、表面が産毛でびっしり覆われているもの、小ぶりで柔らかくて弾力があるものを選びましょう。

オクラは暖かいところでとれる野菜なので、5℃以下になると低温障害(一部が黒くなるなど)を起こすことが多く、注意が必要です。新聞紙に包んで冷暗所に置か、冷蔵庫の野菜室で保管し、早めに食べ切りましょう。炒め物などに使うのなら生のまま冷凍することもできます。